

令和 4 年度 医療救護所訓練実施結果について

令和 4 年度は、旭丘中学校および光が丘秋の陽小学校で訓練を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、光が丘秋の陽小学校での訓練を延期（令和 5 年 2 月中で調整中）とした。旭丘中学校は、予定通り感染対策を施した上で、実施した。

1 実施日時

令和 4 年 11 月 20 日（日） 9 時 00 分～12 時 15 分

2 訓練会場

旭丘中学校（多目的室・保健室・防災備蓄庫ほか）

3 新型コロナウイルス感染症対策

- ・規模を縮小して実施。
- ・参加者を 3 班に分け、相互に接触の機会を作らないよう配慮。
- ・マスク、ニトリル手袋、フェイスシールドを全員着用し、実施した。

4 訓練内容

- (1) LINE WORKS デモンストレーション
- (2) 救護所ツアー
- (3) 医療救護所開設訓練
 - ・参集要員の役割分担
 - ・設営（机上）
- (4) 医療救護活動訓練
 - ・トリアージ
 - ・重症者処置
 - ・搬送

5 参加者 59 名

- (1) 練馬区医師会 (4 名)
- (2) 練馬区歯科医師会 (4 名)
- (3) 練馬区薬剤師会 (6 名)
- (4) 東京都柔道整復師会練馬支部 (3 名)
- (5) 登録看護師 (4 名)
- (6) 避難拠点要員 (8 名)

- (7) 順天堂練馬病院 (8名)
- (8) 避難拠点運営連絡会 (7名)
- (9) 旭丘中学校 (1名)
- (10) 区職員 (14名)

(6) 主な意見

全体	<p>①災害発生時に、医療救護所が様々な医療救護活動を行っているかを知れて良かった。</p> <p>②少人数での訓練および多様な対応をすることとなったため、様々な発見があった。</p> <p>③コロナ感染予防のため、開設訓練が机上のみであり、実体験が出来なかったのが残念だった。また、参加人数の関係もあるが、各職種の役割、連携もあまり体験出来なかったように思った。</p>
救護所ツアー	<p>①実際に歩くことにより、医療救護所における被災者の動線等がわかった。小中学校は、救護活動には不向きな配置であるとも感じたが、実際の災害時は使えない教室も有ると考えると、臨機応変に対応する必要があると感じた。</p> <p>②コロナ下という点を踏まえ、発熱の被災者を別部屋にする点はよいと思った。</p>
開設訓練 (役割分担)	<p>①発災時、人員が足りない中で医療救護活動を実施することになると思われる。少人数で行えてよかった。</p> <p>②訓練の際は、時間をかけて役割分担を行った。ただし、発災時は、人数も限られており直ちに決める必要がある。統括者のフォローとして、周りの人の経験の有無も発言したりするものよかったと思う。</p>
開設訓練 (設営)	<p>①軽症者エリア、重傷者エリアともに狭さを感じ、動線がはっきりしなかったことが、設営に時間がかかった要因と思う。各医療救護所で、それぞれ異なる課題が生じると思われる。</p> <p>②統括医である医師を中心としたチームで、各職種の班員の担当等の考えもよくわかった。</p>

<p>医療救護活動訓練 (トリアージ)</p>	<p>①訓練によって徐々に早く出来るようになったが、実際は 30 秒で行なうのが望ましいとのことだったので、定期的に訓練する必要があると思った。</p> <p>②3分以内のトリアージより、先ずは何を主観にするのかから始めて、訓練最後辺りに3分間のリミットを付けた方が良い。</p> <p>③発災時、次々に来る被災者をスピーディにトリアージする中で、タグを赤か黒かの判断は非常に難しいということがある。経験が少なくトリアージに不安があると時間がかかってしまう。訓練と発災時では全く違う状況ではあるが、トリアージタグの使い方を含め、START 法の理解をすることは必要である。</p>
<p>医療救護活動訓練 (重症者処置)</p>	<p>①想像よりも医療資源があると思った。今回の処置室となった保健室は狭く、赤タグでも全員をすぐに処置できない環境であることが分かった。また初期段階では医師の数も少ないと考えられ、ほかの職種の協力は必要不可欠であると思った。</p> <p>②判断の妥当性の一つではないと思うが、治療および搬送の優先順位、安定化治療の判断は、とても難しかった。</p> <p>③いかに迅速に処置できるか、命を救うことになるかもよくわかった。</p>
<p>医療救護活動訓練 (搬送)</p>	<p>①実際のストレッチャーを動かすのは初めてで良い経験になった。搬送するという判断をしても、実際にはとても人手がかかることが実感できたので良かった。</p> <p>②担架への移乗の際、多職種知識を用いた被災者への安全を考慮したアセスメントを行い訓練ができたことは、今後につながると思った。ストレッチャーについて、普段ほとんど使うことがないため、セッティングの仕方、搬送のポイントを知る事ができたのは良かった。</p>
<p>その他</p>	<p>①災害時医療のレクチャーがあり、とても勉強になった。より多くの方に参加してもらえよう、案内していきたい。</p> <p>②今回久々参加してみて、以前と比べ、どんどん具体</p>

	<p>的になっているのを実感した。LINE ワークス等の情報共有ツールも増設し、加えて実践を繰り返しながら、いざという時に協力しながら地域のために動けるように訓練しておく大切さを感じた。</p>
--	---